

どの子ども生き生きととりくむ学習活動 —生活単元学習での実践を通して—

1. 設定理由

これまで私は、知的な発達遅れのある子どもたちの教育課程を編成する際には、実際の・具体的な内容の指導の中で、成功体験を豊富にし、主体的にとりくむ意欲を育てることが重要だと考え、生活単元学習を中心に据えてきた。子どもたちの発達段階や興味・関心から活動内容を考え、子どもたちと一緒に活動を進めていくことで、将来の自立に必要な、主体的にとりくむ意欲を育てることができるのではないかと考えた。

毎年、年間を通していろいろな活動を計画し、生活単元学習にとりくんできたが、その中でも、みんなで協力して製品を作り上げていく、バザーと特連合同販売会に向けた木工活動には力を入れてきた。一連の活動の中には、話し合い活動や作る活動、友だちとの関わり方など様々な内容が含まれている。今までのとりくみをまとめることで、生活単元学習にとりくむ良さや成果を改めて整理することができるのではないかと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

- ・生活単元学習を中心に教育課程を編成することで、子どもたちが学校生活に見通しを持ち、自分からとりくむことができるだろう。
- ・意欲的にとりくむための工夫をすることで、子どもたちが生き生きと活動することができるだろう。

3. 研究内容

- (1) 2016年度の生活単元学習でのとりくみ
- (2) 生活単元学習における木工活動
- (3) 2016年度バザー「『かわいい鳥カレンダー』を100個作ろう」での実践

4. 結 論

- 自分からとりくむ意欲や、学校生活を楽しみにする気持ちが育った。
- 色々な活動に、生き生きととりくむことができるようになった。

1. 研究テーマ

どの子ども生き生きととりくむ学習活動
～生活単元学習での実践を通して～

2. テーマ設定の理由

【特別支援学校 学習指導要領解説 総則等編 第3章 第1節】

「生活単元学習とは、児童生徒が生活上の目標を設定したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。」

「各教科を合わせて指導を行う場合とは、各教科、道徳、特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導を行うことをいう。知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、この各教科等を合わせて指導を行うことが効果的であることから、従前、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきており、それらは『領域・教科を合わせた指導』と呼ばれている。」

これまで私は、知的な発達の遅れのある子どもたちの教育過程を編成する際には、実際的・具体的な内容の指導の中で、成功体験を豊富にし、主体的にとりくむ意欲を育てることが重要だと考え、生活単元学習を中心に据えてきた。子どもたちの発達段階や興味・関心から活動内容を考え、子どもたちと一緒に活動を進めていくことで、将来の自立に必要な、主体的にとりくむ意欲を育てることができるのではないかと考えた。

毎年、年間を通していろいろな活動を計画し、生活単元学習にとりくんできたが、その中でも、みんなで協力して製品を作り上げていく、バザーと特連販売会に向けた木工活動には力を入れてきた。一連の活動の中には、話し合い活動や作る活動、友だちとの関わり方など様々な内容が含まれている。今までの取り組みをまとめることで、生活単元学習にとりくむ良さや成果を改めて整理することができるのではないかと考え、本主題を設定した。

3. 研究仮説

- ・生活単元学習を中心に教育課程を編成することで、子どもたちが学校生活に見通しを持ち、自分からとりくむことができるだろう。
- ・意欲的にとりくむための工夫をすることで、子どもたちが生き生きと活動することができるだろう。

4. 研究実践

(1) 2016年度の生活単元学習でのとりくみ

子どもたちが、学校生活に見通しを持ちやすいように帯状の日課表を組み、毎日3・4校時を生活単元学習とした。2016年度は、季節や学校行事、市原市特別支援教育研究連盟（以下、特連とする。）行事を中心に、以下の表のような活動にとりくんだ。

年間計画を立てる際には、行事の関係や、年間を通して学校生活に見通しを持てるようにという思いから、毎年時期ごとに同じような単元を設定してきた。（資料1～3 参照）

月	単元名 実施期間	活動内容	関連する教科・領域
4月	「DAI☆34先生クイズ」 4月18日（月）～23日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の掲示物作り ・先生方へのインタビュー ・「先生クイズ」作り ・「先生クイズ」練習 	国語・図工・自立活動
	「畑に野菜を植えよう」 4月25日（月）～収穫まで	<ul style="list-style-type: none"> ・植える野菜等を決める ・野菜の名前札作り ・草取り、水やり 	国語・生活・理科・図工
5月	「うんどうかいをがんばろう」 5月9日（月）～27日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の運動会練習（学年・全校） ・5月21日（土）運動会当日 ・振り返り（絵日記、絵） 	体育・自立活動・国語・図工
6月	「とくれんうんどうかいを がんばろう」 5月30日（月）～20日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・応援団練習 ・応援グッズ、用具作り ・種目、ダンス練習 ・6月17日（金）特連運動会当日 ・振り返り（絵日記） 	体育・音楽・図工・国語・自立活動
	「絵本のせかいにとびこもう！」 6月21日（火）～30日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本「ねこずし」をみんなで読む ・道具、衣装作り ・登場人物になりきって、動きながらストーリーを展開する ・6月30日（木）「お話し会」（保護者を招待） 	国語・図工・音楽・自立活動
7月	「レストランをやろう」 （特連地区活動） 7月1日（金）～15日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の計画、買い物 ・調理活動（スープ、ゼリー） ・テーブルクロス作り ・学校紹介練習 ・7月15日（金）地区活動当日 ・振り返り（絵日記） 	家庭科・国語・算数・図工・自立活動
	「暑中みまいをかこう」 7月19日（火）～22日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜スタンプ（ハガキに好きな模様をつける） ・相手に伝えたい内容を考える ・暑中見舞いを書いて、ポストに投函する 	図工・国語・自立活動

9月	「トマトまつり！」 9月5日(月)～9日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 畑で収穫したトマトを使って調理活動 調理の計画、買い物 調理活動 (トマトソース、ハンバーガー、ピザ) 振り返り(絵日記) 	家庭科・国語・算数・自立活動
	「なかよしゲーム大会をしよう」 9月12日(月)～30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> やりたいゲームとルールを決める(かるた、ボーリング、輪投げ) 2チーム対抗でゲームをする 振り返り(絵日記) 	自立活動・国語
10月・11月	「バザーにむけて ～『かわいい鳥カレンダー』を 100個作ろう～」 10月3日(水)～11月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 「かわいい鳥カレンダー作り」(木工活動) 「おぞらの店」準備(看板・飾り作りなど) PR活動(ポスター作り、掲示) お店の練習(接客、レジ) 11月5日(土)バザー当日 振り返り(絵日記) 	図工・国語・算数・自立活動
11月・12月	「特連文化フェスティバルに向けて」 11月8日(火)～12月9日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 劇「サウンド オブ ミュージック」練習 道具、衣装作り 地区合同練習 (11/8 11/17 11/29 12/7) 12月8日(木) 特連文化フェスティバル当日 振り返り(絵日記) 	国語・音楽・図工・自立活動
12月	「スペシャル大パーティーをしよう」 12月12日(火)～20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> パーティーの計画(歌、ゲーム) クリスマスツリーの飾り作り 調理の計画、買い物 調理活動(クレープ) 12月20日(火)パーティー当日 	国語・図工・音楽・家庭科
1月・2月	「はんばいかいにむけて ～『かわいい鳥カレンダー』を 50個つくろう～」 1月12日(木)～2月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 「かわいい鳥カレンダー作り」(木工活動) PR活動 (学校表示作り、ポスター作り) お店の練習(接客、ちらし配り) 2月10日(金)販売会当日 振り返り(絵日記) 	図工・国語・算数・社会・自立活動
2月	「オリジナル小物をつくろう」 2月14日(火)～2月17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 自分で作りたい物のデザインや作り方を考えて、木工作品を作る 	図工・算数
2月・3月	「1年間のまとめをしよう」 2月21日(火)～3月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 作品バック作り(ミシン) 「思い出のアルバム」作り 交流学級の先生方へ手紙を書く 「1年間楽しかったね」パーティー 	家庭科・図工・国語・自立活動

(2) 生活単元学習における木工活動でのとりくみ

①木工活動にとりくんだ理由

特別支援学校で勤務していた時に、小学部の子どもたちが電動糸のこや電動ドライバーを使って木工活動にとりくんでいるのを見た。そして、補助具や工程等の工夫をし、環境を整えれば、小学生でも木工活動ができるということを学んだ。前任校で、バザーに向けた活動を計画する際に、高学年男子の好きそうな電動工具を使った製品作りならば、子どもたちが意欲的にとりくめるのではないかと考え、木工活動にとりくむこととした。

②これまでに実施してきた木工活動（資料4 参照）

年度	製品名	学級構成
2010	「くまさんの花台」	4年男子1人、5年男子2人
2011	「くまさんの小物入れ」	2年女子1人、5年男子1人、6年男子3人
2012	「3びきのこぐま」	3年女子1人、6年男子1人
2013	「くまさんの写真立て」	2年男子1人、4年女子1人、5年男子1人
2014	「くまさんのメモボード」	1年男子1人、5年女子1人、6年男子1人
2016	「かわいい鳥カレンダー」	2年男子1人、2年女子2人、3年男子1人

毎年、作る製品は違ったが、「切る」「やすりがけをする」「塗る」「組み立てる」という工程で活動を計画した。同じような流れでとりくんできたことで、子どもたちが見通しを持って活動することができた。

③意欲的にとりくむための工夫

【場の設定】

毎日自分から活動場所に向かい、すぐにとりくめるように、教室後方を「おおぞら工場」として、作業台や電動工具、材料置き場などを常設した。

【役割分担】

責任を持ってとりくめるように、「工場長」「副工場長」「PR部長」「お客様係」など、子どもたちの様子に合わせて役割分担をして、ネームプレートを作った。

【ユニフォーム】

作る活動へと気持ちを切り替えやすいように、また、より工場の雰囲気ができるように、おそろいのエプロンを用意し、身支度を調べてから活動にとりくむようにした。

【校内へのPR】

たくさんの友だちや先生方に活動を知ってもらえるように、ポスターを作って掲示したり、CMを作ってお昼の校内放送で流したりした。

【補助具】

子どもたちが、できるだけ自分で活動できるように、一人ひとりに合わせた補助具を用意しておいた。

【担任の動き】

担任も、「おおぞら工場」の一員として、子どもたちと一緒に作る活動にとりくんだ。一緒に活動しながら、子どもたちの様子に合わせて必要な支援をした。

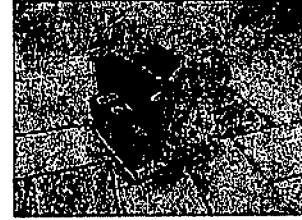
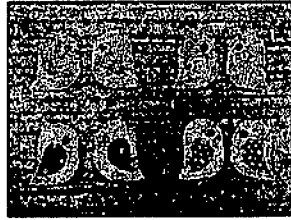
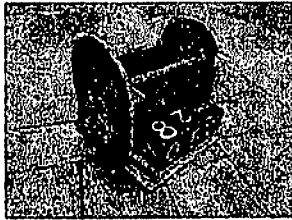
【特連合同販売会への参加】

一般のお客様を相手に、より本物の体験をしてほしいという願いから、毎年2月に行われる特連合同販売会に参加してきた。

【製品のシリーズ化】

毎年、前年度のアンケートを参考に、子どもたちと話し合っって新製品を考えた。その際子どもたちが見通しを持ちやすいように、「くまさんシリーズ」「かわいい鳥グッズ」などと、製品をシリーズ化した。

(3) 2016年度 バザー『『かわいい鳥カレンダー』を100個作ろう』での実践(資料5 参照)



① 「おおぞら工場」での活動の記録 (資料6～8 参照)

活動	手立て	道具等
<p>1. パーツ作り</p> <p>・「かわいい鳥カレンダー」のパーツを作る。</p> <p>○糸のこ</p> <p>・「ぼう」「うら板」を切る。(D)</p> <p>・「鳥さん板」「たて板」を切る。(T)</p> <p>○やすりがけ(全員)</p> <p>・全てのパーツにやすりをかける。</p> <p>「ぼう」 300本</p> <p>「うら板」 100枚</p> <p>「鳥さん板」 100枚</p> <p>「たて板」 200枚</p> <p>「キューブ」 300個</p> <p>○ペンキぬり</p> <p>・「ぼう」「うら板」にペンキをぬる。(A)</p>	<p>・目当てや見通しを持ってとりくみやすいように、個々の担当を決め、同じ活動に繰り返しとりくんでいくようにする。</p> <p>・糸のこがずれないように、作業台にスポンジマットを敷いておく。</p> <p>・一人で切ることができるように、扱いやすい木材を用意する。</p> <p>・切るところがわかるように、あらかじめ切り取り線を書いておく。</p> <p>・扱いやすい方を選んで使えるように、紙やすりを板に貼り付けた「やすり板」と、棒に巻き付けた「棒やすり」を用意しておく。</p> <p>・A、Cは、やすりをかける場所がわかるように、チョークで色をつけておく。</p> <p>・見通しをもってとりくめるように、毎時間「今日は20個がんばろうね。」などとそれぞれの目標数を決めておく。</p> <p>・塗りやすいように、パーツに合わせたスリッパを作業台につけておく。</p>	<p>エフロン 目録</p> <p>電動糸のこ スポンジマット</p> <p>「やすり板」 「棒やすり」 紙やすり チョーク</p> <p>スリッパ ペンキ</p>

①「ぼう」を10本ずつストッパーに並べる。	・手にペンキがつかないように、手袋を用意しておく。	細い刷毛 幅広の刷毛
②ぬり残しのないようにペンキをぬる。「うら板」も同様	・刷毛につけやすいように、ペンキは小皿に入れておく。	小皿 手袋
・「鳥さん板」「キューブ」にペンキをぬる。(T)	・パーツに合わせて選べるように、細い刷毛と幅の広い刷毛を用意しておく。	
○オイルステインぬり ・「たて板」にオイルステインをぬる。(C)	・オイルステインが飛び散らないように、作業台をレンジ用パネルで囲っておく。	レンジパネル オイルステイン
①「たて板」を5枚ずつ並べる。	・オイルステインが手につかないように、手袋を用意しておく。	刷毛 小皿
②ぬり残しのないように、1面ずつオイルステインをぬる。	・手に取りやすいように、「たて板」を5枚ずつセットにしておく。	乾かす板
③ぬり終わった「たて板」を、板の上に並べて乾かす。	・刷毛につけやすいように、オイルステインは小皿に入れておく。 ・においがこもらないように、十分に換気する。	
○文字入れ ・「キューブ」に数字を書く。(B、D) ・「ぼう」に月と数字を書く。(T)	・数字がずれないように、一面ずつ書くようにする。「1」を100個書いたら「2」を100個…のように。	見本 マーカーペン
○「くちばし」「はね」カット ・「くちばし(フェルト)」をはさみで切る。(T) ・「はね(貼れる布)」をはさみで切る。(A)	・一人で切れるように、あらかじめ切り取り線を書いておく。 ・一人でとりくめるように、はさみで切りやすい「貼れる布」を材料にする。	はさみ フェルト 貼れる布
○「くちばし」「はね」ボタンつけ ・「くちばし」をボンドで「鳥さん板」につける。(T) ・「はね」を「鳥さん板」に貼る。(A) ・ボタンを「鳥さん板」にボンドでつける。(全員)	・「はね」やボタンを貼る場所がわかるように、あらかじめ「鳥さん板」に印をつけておく。 ・ヘラに取りやすいように、ボンドは小皿に入れておく。	ボンド ヘラ 小皿
2. 組み立て (全員)	・自分で組み立てることができるように、補助具を用意しておく。 ・ミニビスを打ち込みやすいように、木材にガイド穴を開けておく。	電動ドライバー ミニビス 補助具
①「たて板」2枚を補助具にセットする。	・自分で組み立てることができるように、補助具を用意しておく。	電動ドライバー ミニビス
②「たて板」と「うら板」をミニビスでとめる。	・ミニビスを打ち込みやすいように、木材にガイド穴を開けておく。	補助具

<p>③「たて板」の側面に「鳥さん板」をミニビスでとめる。</p>	<p>・子どもたちの様子に合わせて、手を添えて一緒に組み立てたり、組み立てやすいように補助具を押さえたりする。</p>	
<p>3. 「おおぞらの店」準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品チェック (B、D) ・ポスター作り (A、C) ・値札書き (A、B) ・お店の練習 (全員) 	<p>・たくさんのお客さんに来てもらえるように、担当に分かれてお店の準備をしたり、お店の練習をしたりする。</p>	<p>画紙 マジック シール</p>
<p>4. 前日準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室を「おおぞらの店」の配置にする。 ・当日の流れをみんなで確認し合う。 	<p>・当日に向けての期待感が高まるように、教室に長机を並べたり、ポスターを貼ったりする。</p>	<p>机 テーブルクロス ポスター</p>
<p>5. バザー当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おおぞらの店」で、「かわいい鳥カレンダー」を販売する。 	<p>・一人ひとりが活躍できるように、様子を見て声をかけたり、一緒に接客したりする。</p>	<p>レジ箱 ビニール袋 アンケート</p>

②単元期間中の子どもたちの様子

	活動前の様子	主な担当	手立て	変容
<p>A 2年 好</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手先が器用で、作る活動が大好き。 ・活動中に疲れたり飽きてきたりすると場を離れることがある。 ・木工活動にとりくむのは初めて。 	<p>製品 フィック係 ○ペンキぬり ○「はね」カット ○「はね」つけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で切ることができるように、扱いやすい「貼れる布」を材料とし、あらかじめ切り取り線をかいておいた。 ・時間いっぱいとりくめるように、「あと○枚切ろうね。」「長い針が9まで頑張ろう。」と声をかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・切り取り線に沿って、ていねいに切ることができた。 ・「見て。すごい？上手？」などと友だちや担任に声をかけ、ほめられるとますます張り切って、時間いっぱいとりくむことができた。
<p>B 2年 好</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・器用ではないが、何をやる時も意欲的にとりくむことができる。 ・負けず嫌いで1番になれないと泣いて怒ることがある。 ・木工活動にとりくむのは初めて。 	<p>副工場長 ○キューブ 文字入れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を持って活動できるように、十分に練習してからとりくんだ。 ・失敗しても気にし過ぎないように予備の材料を用意してあることを伝えた。 ・友だちの頑張りに気づくように、一人一人の頑張っていることなどを毎日話題にした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れるまでは、うまくできずにがっかりしたり怒ったりすることもあったが、持ち前のやる気でこつをつかむと、自信を持って活動することができた。 ・友だちや担任のやりとりを見て、「○○君すごいね。頑張っているね。」などと言えるようになった。

C 2年 好	<ul style="list-style-type: none"> ・体が小さく体力がないため、力が必要な活動は苦手。 ・何でも自分でやろうとする気持ちが育ってきている。 ・木工活動にとりくむのは初めて。 	<p>お客様係</p> <p>○オイル ステイン ぬり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を持てるように、多少塗り方が荒くてもきれいに仕上がるオイルステインの担当にした。 ・責任を持ってとりくめるように、毎日「今日は○枚できたね。あと○枚だね。」と完成までの数を一緒に確認し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「5枚ずつ並べて4面を塗る」という手順を覚えて、自分で活動にとりくむことができた。 ・塗り終わったパーツが増えていくのを楽しみに、毎日張り切って活動し、一人で200枚のパーツを塗ることができた。
D 3年 好	<ul style="list-style-type: none"> ・器用ではないが、説明やアドバイスをよく聞き、作業に取り組むことができる。 ・マイペースだが、3年生になり、「僕がリーダー」という意識や、周りの友だちへの興味を持ち始めている。 ・木工活動にとりくむのは2回目。 	<p>工場長</p> <p>○糸のこ ○キューブ 文字入れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でもとりくめるように、扱いやすいベニヤ板を直線で10cm切る工程を用意した。慣れるまでは手を添えて一緒に切った。 ・「工場長」が活躍できるように、初めと終わりのあいさつや、日程表のチェックなどの役割を用意した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての活動で不安もあったようだが、前向きな気持ちで最後までとりくみ、自信を持つことができた。 ・手が止まっている友だちに注意をしたり、頑張っている友達に声をかけたりするなどして、「工場長」として毎日張り切って活動することができた。

☆「やすりがけ」「ボタンつけ」「組み立て」は、全員でとりくんだ。

☆子どもたちが安心してとりくめるように、予備の材料を多めに用意しておいた。

☆より良い製品になるように、また自分の担当に責任を持って取り組めるように、パーツ作りの各工程では、「工場長」や担当がパーツの仕上がりを確認するようにしていた。

☆お金を頂いて販売する「製品」を作っているという意識を持てるように、必要な場面で声をかけたり、みんなで考える場面を設けたりした。

③バザー当日の様子（資料9 参照）

当日は、たくさんの友だちや保護者、先生方が「おおぞらの店」に来てくれた。子どもたちも張り切って活動し、たくさんのお客さんと積極的に関わることができた。

「いらっしゃいませ。」「レジはあちらです。」「300円です。」「ありがとうございました。」等、あらかじめ練習しておいた言葉だけではなく、「おすすめはピンクです。」「あと10個です。」など、場や相手に合わせたやりとりをすることができた。前年は途中で疲れて座り込んでしまったCも、交流学級の先生が来ると「○○先生、これは私が塗りました。」とアピールするなど、最後まで張り切って活動することができた。開始30分ほどで100個全て完売した。「やったあ！今年も完売だね。」とみんなで喜び合い、満足感いっぱいの1日となった。

④考察

木工活動を進める中で、次のようなことがわかった。

○ほめること ⇨ 子どもの意欲

子どもたちの意欲や頑張りなど、小さなことでも毎日ほめた。担任の様子を見て、子どもたちどうしても、お互いをほめ合うようになっていった。

「工場長」のDは、初めのうちは、糸のこでまっすぐ切れるかと不安そうだったが、「すごいね。」「さすがだね。」などと、毎日友だちや担任に声をかけられるうちに、前向きな気持ちでとりくむことができるようになっていった。

以上のことから、当たり前のことではあるが、子どもの様子や姿に合わせて、小さなこともほめたり、認めたりすることは、子どもたちの意欲につながるということがわかった。

○一人一人に合わせた活動内容 ⇨ 自信を持ってとりくむ

各工程の担当を決める際には、子どもたちの希望も取り入れながら、一人ひとりが活躍できるように考えた。手先の器用な子、難しいことにチャレンジするのが好きな子、できないと意欲をなくしてしまう子など、一人ひとりの様子に合わせて担当を決め、活動内容を用意した。

作ることが大好きで手先が器用だが、飽きると場を離れることのあるAは、「はね」カットを担当した。試作の際には、鳥の羽部分は布を用いたが、柔らかい布をはさみで切るのは難しい。そこで、Aでも上手に切れるように、裏面がシール状になっている「貼れる布」を用意した。扱いやすい材料を用意したことで、Aは上手に切り取ることができ、自信を持って時間いっぱい活動することができた。

以上のことから、子ども一人ひとりに合わせて活動内容を考えたり、道具や材料を用意したりすることで、子どもたちが自信を持ってとりくむことができるということがわかった。

○わかりやすい手順と繰り返しの活動 ⇨ 自分からとりくむ

各工程の活動を計画する際には、担当する子どもにわかりやすい手順を繰り返す活動になるように心がけた。

見通しを持って活動することが苦手なCは、オイルステインを担当した。初めのうちは、担任が5枚のセットを作っておいたが、同じ手順を繰り返すうちに、Cは自分で数えて5枚ずつ並べるようになり、一人で200枚のパーツを塗ることができた。

以上のことから、一人ひとりに合わせたわかりやすい手順を用意することで、子どもたちは自分からとりくむことができるということがわかった。

○各工程の役割分担 ⇨ 友だちの良さに気づく

製品完成までの工程は、一人ひとりの得意なことや希望などから役割分担をした。友だちが活動している様子が見えるように場を設置し、みんなで協力してとりくんだ。

何でも自分が1番でないと気が済まない副工場長のBは、初めのうちは、担任が友だちをほめると、「俺のほうが…。」「だって俺も…」などと、自分が、自分がと主張することが多かった。活動が進むうちに、ほめたり、励まし合ったりする友だちや担任の姿を見て、「○○君、頑張っているね。」などと言えるようになっていった。

以上のことから、完成までの役割分担をして協力して活動することは、子どもたちが、友だちの良さや頑張りに気づくことにつながるということがわかった。

5. 研究のまとめ

(1) 成果

◎自分からとりくむ意欲や、学校生活を楽しみにする気持ちが育った。

- 子どもたちが「おもしろそうだな」「やってみたいな」と思うような活動を計画したことで、自分からとりくもうとする意欲が育ってきた。
- 同じ目的に向かってみんなで活動する中で、仲間意識が育ってきた。
- 単元の初めに、話し合い活動を入れたことで、自分たちで考えたり、話し合ったりしようとする主体的な態度が見られるようになった。
- 役割分担をしたことで、一人ひとりが自分の担当に責任を持ち、「自分は必要とされている存在」という意識を持つことができるようになった。

◎様々な活動に、生き生きととりくむことができるようになった。

- 自分から準備や片付けにとりくむことができるようになった。
- 我慢をしたり、友だちに譲ったりすることができるようになった。
- 友だちの良さを見つけたり、励ましたりすることができるようになった。
- 時間いっぱい活動することができるようになった。
- 最後まであきらめずにとりくむことができるようになった。
- 周りの友だちと、自信を持って関わることができるようになった。
- 1年間の流れに見通しを持てるようになってきた。


(2) 課題

- ◆一人ひとりが活躍できるように、その年々の子どもたちの構成メンバーや様子に合わせた活動内容や進め方を十分に検討する。
- ◆補助具の作成など、準備にかかる時間の確保する。
- ◆学校行事や特連行事の準備、各教科との時間の兼ね合いを見直すこと。
- ◆一人ひとりに合わせた交流及び共同学習を行っていくための、交流学級との日課をこまめに調整し、柔軟に対応していく。
- ◆小学校で身につけたことを、中学校で更に伸ばしていけるように、小中連携を密に図っていく。

資料



2016年度の日課表

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>おおぞら学級</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <h1>日課表</h1> </div> <div style="text-align: center;"> <p>市原市立 園分寺台小学校</p>  </div> </div>							
月曜 時刻	休時	月	火	水	木	金	火~金 時刻
8:05	児童登校完了						8:05
8:15	あさのかい						8:15
8:30	みどりのかせタイム		あさそうじ	みどりのかせタイム			8:30
9:15	1			体いく			9:15
9:20	2	音かく	国語	書しゃ	算すう	音かく	9:20
10:05	ぎょうかん休み						10:05
10:25	3	<div style="display: flex; justify-content: space-between;">   </div> <p style="font-size: 1.5em; text-align: center;">生かつたんげん学しゅう</p>				4	11:10
11:10							11:10
11:15							11:15
12:00	きゅうしょく						12:00
12:40	ひる休み		ロング 休み	ひる休み		集会 代表委員会 終われば休み時間	12:40
13:00	そうじ		休み	そうじ			13:00
13:05	そうじ		休み	そうじ			13:05
13:20	そうじ		休み	そうじ			13:20
13:25	5	国語 <small>(コンピュータ室)</small>	国語 <small>(としょしつ)</small>	算すう	国語	算すう	13:25
14:10							14:10
14:20	6	帰りの会		算すう	国語 <small>(3年生)</small>	帰りの会	14:15
14:25	帰りの会		算すう	国語 <small>(3年生)</small>	帰りの会		14:15
15:00	帰りの会		算すう	国語 <small>(3年生)</small>	帰りの会		15:00
15:10	帰りの会		帰りの会		帰りの会		15:10

月	2012年度の取り組み
4月	「教室のけい示物を作ろう」 「ズームイン！台小」 「ひみつプロジェクト（プレゼントを作ろう）」
5月	「運動会をがんばろう」
6月	「特連運動会をがんばろう」
7～8月	「特連キャンプへ行こう！」
9月	「遊び場を作って1年生と遊ぼう」
10～11月	「『3びきのこぐま』を作ろう」（バザー）
11～12月	「特連フェスティバルに向けて」
12月	「クリスマスパーティーをしよう」
1～2月	「『3びきのこぐま』を作ろう」（頒布会）
2～3月	「思い出のアルバムを作ろう」

2012年度の日課表

おおぞら学級		日課表					西宮市立 台小学校	
月	火	水	木	金	土・日	時間	時間	
8:05	朝の会						8:05	8:05
8:15	みどりの風タイム			朝練	みどりの風タイム		8:15	8:15
8:30	1 体育						8:30	8:30
9:15	2 音楽 書写 理科 社会 音楽						9:15	9:15
9:25	茶間 休み						9:25	9:25
10:00	3 生活単元学習						10:00	10:00
10:25	4						10:25	10:25
11:10	給食						11:10	11:10
11:15	給食						11:15	11:15
12:00	給食						12:00	12:00
12:00	昼休み		ロング	昼休み		委員会	12:00	12:00
12:05	清掃		休み	清掃		代表委員会	12:05	12:05
12:20	5 国語 国語 国語 総合 国語						12:20	12:20
12:25	6 委ク 算数 算数 算数						12:25	12:25
13:00	台小タイム		委員会		委員会		13:00	13:00
13:10	委員会						13:10	13:10

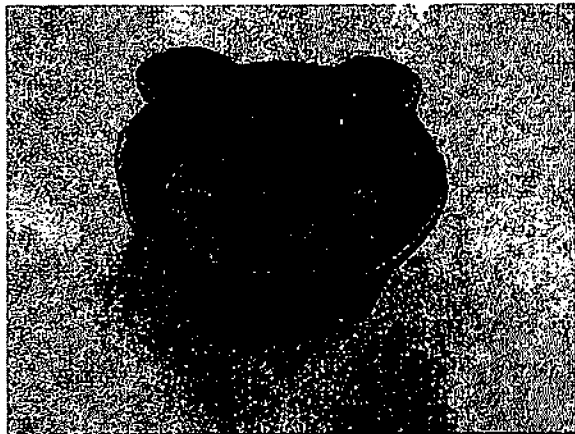
月	平成2015年度の取り組み
4月	「教室の掲示物を作ろう」 「台小クイズ～先生たちの名前・教室の名前～」
5月	「運動会をがんばろう」
6月	「特連運動会をがんばろう」 「七夕祭りをしよう」（特連地区活動）
7月	「七夕祭りをしよう」（特連地区活動）
9月	「トマトまつり！」 「絵本で遊ぼう」
10～11月	「かわいい鳥グッズを作ろう」（バザー）
11～12月	「特連文化フェスティバルに向けて」
12月	「クリスマスパーティーをしよう」
1～2月	「かわいい鳥グッズを作ろう」（特連販売会）
2～3月	「思い出のアルバムを作ろう」

2015年度の日課表

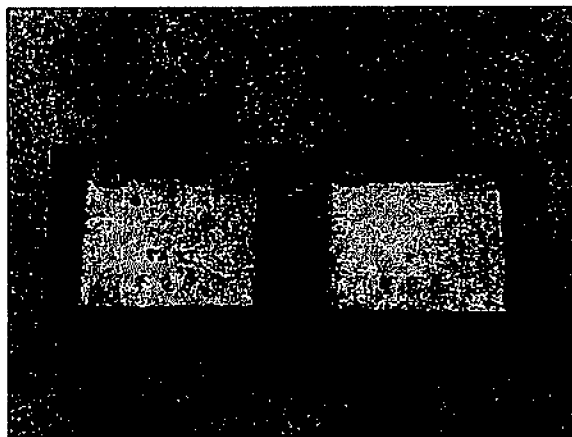
おみぞら学級		日課表					児童生活	
月	火	水	木	金	土	日	月	火
8:05	あさのかい						8:05	
8:15	みどりのかせタイム		あさそうじ	みどりのかせタイム		8:15		
8:30							8:30	
9:15	1	体いく					9:15	
9:20	2	音かく	国語	書しゅ	算すう	音かく	9:20	
10:05	ぎょうかん休み						10:05	
10:25							10:25	
11:10	3	生かつたんげん学しゅ					11:10	
11:15	4						11:15	
12:00	きゅうしょく						12:00	
12:40							12:40	
13:00	ひる休み	ロング	ひる休み		英会		13:00	
13:05	そうじ	休み	そうじ		代表委員会		13:05	
13:20							13:20	
13:25	5	国語	国語	算すう	国語	算すう	13:25	
14:10							14:10	
14:20	6	朝の会	算すう	朝の会			14:20	
14:25							14:25	
15:00							15:00	
15:10	朝の会						15:10	

これまでの木工製品

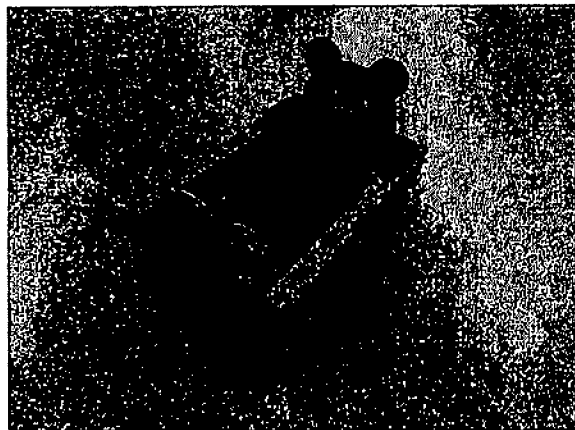
2010「くまさんの花台」



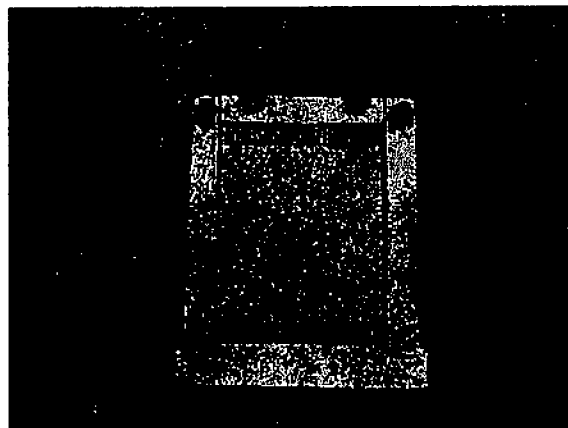
2013「くまさんの写真立て」



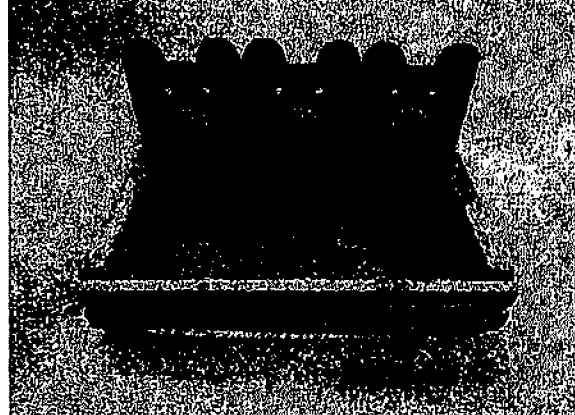
2011「くまさんの小物入れ」



2014「くまさんのメモボード」



2012「3びきのこぐま」



毎年、製品名は
子どもたちと一緒に
考えました。



「『かわいい鳥カレンダー』を100個作ろう」日程表



を100こつくろう!



日にち	やること	ぎょうじ
10/12(水)	① 「 」づくり	2学きぎょうじ
13(木)	○糸のこ ・ぼう 300 ()	ひなんくんれん
14(金)	・たて板 200 (#)	2ねん町たんけん
17(月)	・うら板 100 (#)	1、3年体カテスト
18(火)	・鳥お板 200 (先生)	2年体カテスト
19(水)	○ペンキぬり ・ぼう ()	
20(木)	・キューブ ()	たんしゅくにっか
21(金)	・鳥お板 ()	全校集会
24(月)	○オイルステインぬり ・たて板 ()	
25(火)	・うら板 ()	
26(水)	○組み立て	
27(木)		
28(金)		
11/31(月)	② お店じゅんぴ (みんなで!!)	じどう集会
1(火)	○せい品チェック	
2(水)	○ねふだつけ	
4(金)	○せんでん	
5(土)	○お店のれんしゅう	
	○前日じゅんぴ	
	○バザー! 「おおそらの店」 オープン!	学習さんかん・バザー
	かたづけ	

※製品名は、子どもたちと話し合っ決めて、「工場長」のDが日程表に書き込みました。

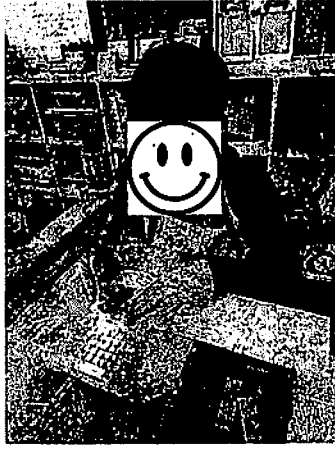
2016『かわいい鳥カレンダー』を100個作ろう
「おおそら工場」での活動の様子

【1. パーツ作り】

○糸のこ



「手を切らないように…」



「まっすぐ切るよ。」

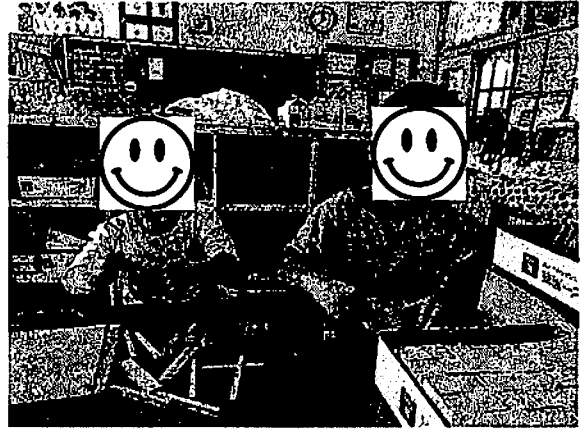


「全部切りました！」

○やすりがけ

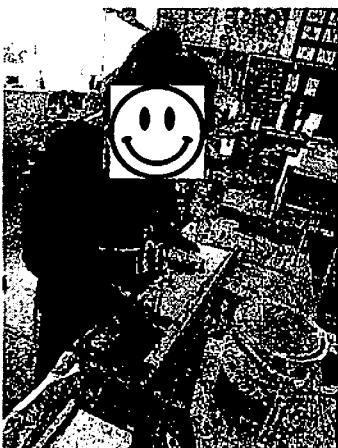


「赤い線が消えるまでけするよ。」

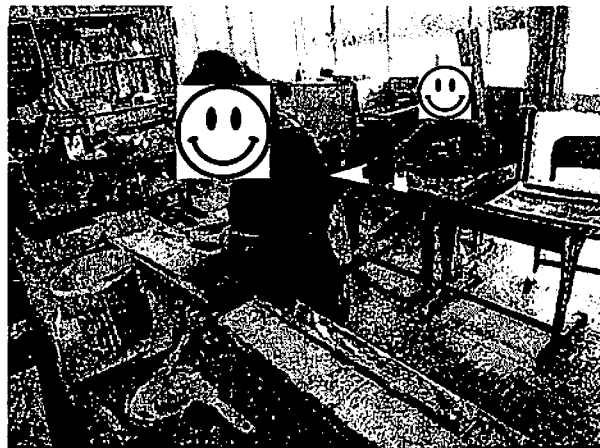


「6本目終わったよ〜。」

○ペンキぬり



「10本ずつ並べるよ。」



「全部ぬれたかよく見て…」



○オイルステインぬり



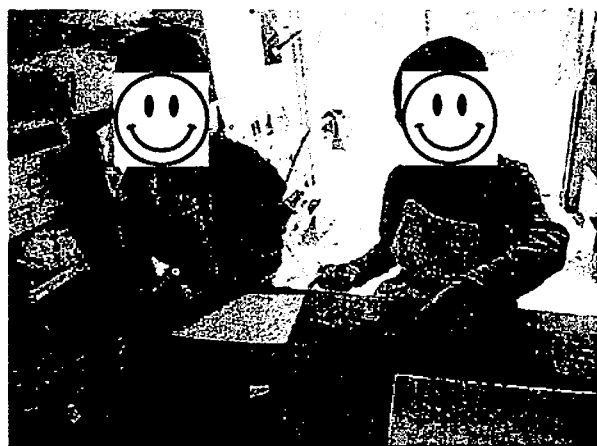
「ぬり方ばっちりOK！」



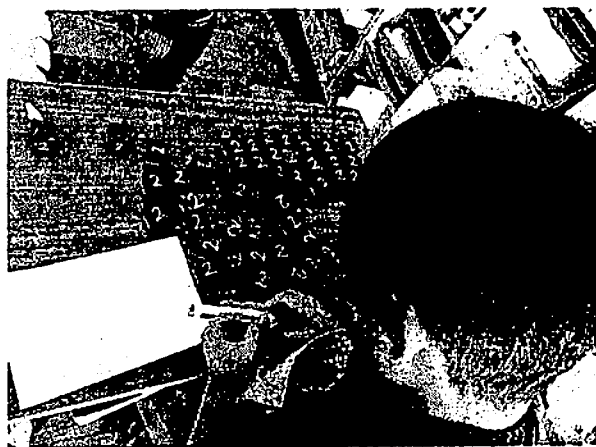
「みんなでがんばるよ。」



○キューブ文字入れ

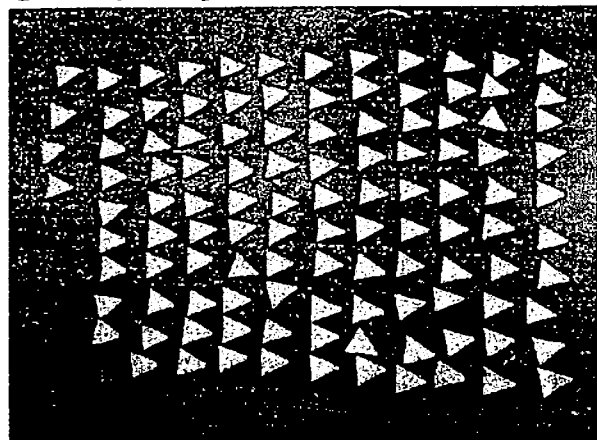


「数がずれないように気をつけて…」

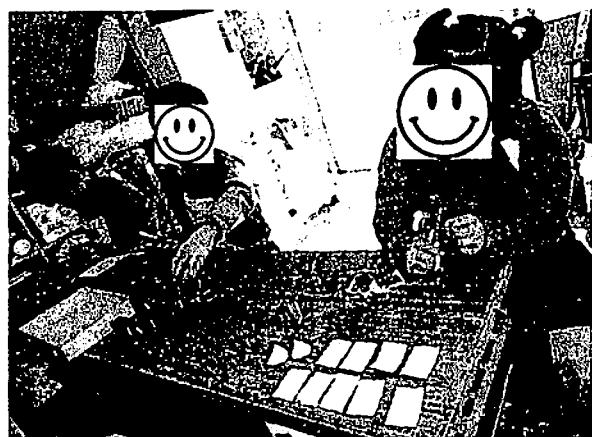


「ゆっくり、ていねいに書くよ。」

○「くちばし」「羽根カット」

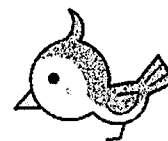
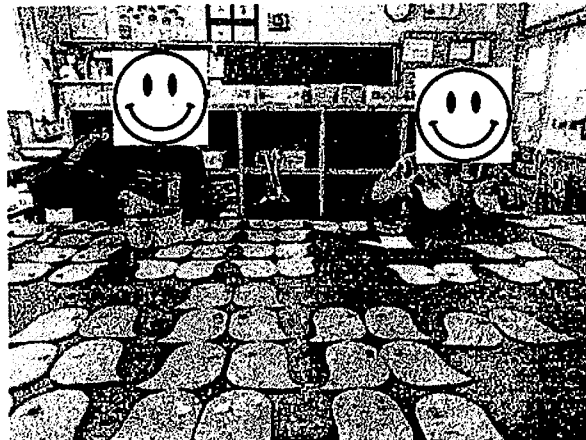


「『くちばし』はフェルトです。」



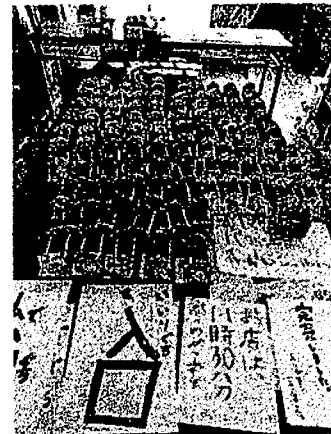
「貼れる布をはさみで切ります。」

○「くちばし」「羽根」ボタンつけ



「ボタンが『目』になるよ。」 「わあ～鳥さん板がいっぱいできたね！」

【組み立て】

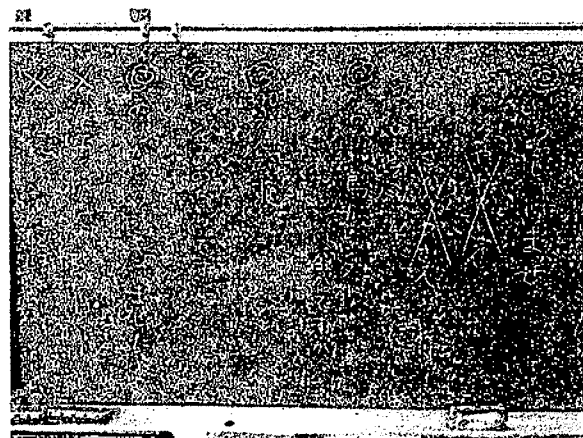


「まっすぐ打ち込むよ。」

「ぐーっと体重をかけて…」

「100個完成！」

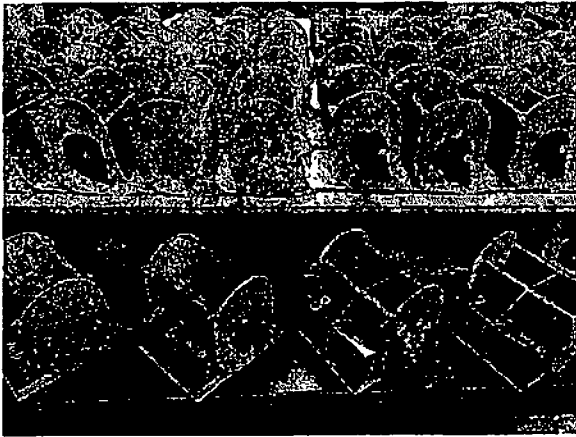
【「おおぞらの店」準備】



「みんなでポスターを作るよ。」

「お店の練習もバッチリ！」

【当日の様子】



100個完成！



開店前からお客さんが…！



「いらっしやいませ」



「ピンクがおすすめです」



「やったあ！今年も完売！！」



後日、回収したアンケートを見ると、
「いろいろな色があって見た目もかわいい」
「色も形もステキ」
「みんなの頑張りが伝わった」
「ポスターが見やすかった」
「来年も楽しみにしています」
…など、嬉しい感想がたくさんあった。子どもたちは「やったね。」「来年も頑張ろうね。」
「その前に販売会だよ。」などと、次の活動への意欲を見せてくれた。

【学校教育法第72条】

特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。以下同じ）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

【学校教育法第81条 第1項】

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校においては、次項各号のいずれかに該当する幼児、児童及び生徒その他教育上特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対し、文部科学大臣の定めるところにより、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うものとする。

【学校教育法第81条 第2項】

- 1 知的障害者
- 2 肢体不自由者
- 3 身体虚弱者
- 4 弱視者
- 5 難聴者
- 6 その他障害のある者で、特別支援学級において教育を行うことが適当な者

【学校教育法施行規則第138条】

小学校若しくは中学校又は中等教育学校の前期課程における特別支援学級に係る教育課程については、特に必要がある場合は、第50条第1項、第51条及び第52条の規定並びに第72条から第74条までの規定にかかわらず、特別の教育課程によることができる。

【学校教育法施行規則第140条】

小学校若しくは中学校又は中等教育学校の前期課程において、次の各号のいずれかに該当する児童又は生徒（特別支援学級の児童及び生徒を除く。）のうち当該障害に応じた特別の指導を行う必要がある者を教育する場合には、文部科学大臣が別に定めるところにより、第50条第1項、第51条及び第52条の規定並びに第72条から第74条までの規定にかかわらず、特別の教育課程によることができる。

- 一 言語障害者
- 二 自閉症者
- 三 情緒障害者

- 四 弱視者
- 五 難聴者
- 六 学習障害者
- 七 注意欠陥多動性障害者
- 八 その他障害のある者で、この条の規定により特別の教育課程による教育を行うことが適当な者

【千葉県特別支援教育指導資料 第2章Ⅲ1(1)③】

特別の教育課程を編成する場合は、特別支援学校小学部・中学部の学習指導要領を参考とすること。(特に、知的障害特別支援学級の場合には、小学部・中学部学習指導要領の中の知的障害に関する部分を参考にする。)

【学校教育法施行規則第130条 第2項】

特別支援学校の小学部、中学部又は高等部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。